

専修大学体育会OBOG連合会
令和8年度定期総会
【議案書】



〈内容・目次〉

第1号議案	令和7年度 活動報告	2P
第2号議案	令和7年度 会計報告	3P
第3号議案	令和8年度 活動計画	4P
第4号議案	令和8年度 会計予算	5P
第5号議案	当連合会が来年度より校友会の組織として活動する件	6P
	当連合会からのお知らせ	7P

令和8年6月

第1号議案 令和7年度 活動報告

令和7年度の当連合会の活動は下記となります。役員会では主に、校友会への支部設立とホームページの立ち上げ、そして書面と対面のふたつの定期総会について協議を重ねました。

日 時	会議名等	内 容	会 場
4月11日(金) 18:00~19:30	4月度役員会	1)笠原会長より令和7年度体育会OB・OG会の活動方針の発表 2)令和7年度体育会OB・OG会の定期総会日程について 3)総会内容について 4)総会に向けて今後の予定 5)体育会OB・OG会ホームページ(HP)の作成にかかる概算	神田校舎1号館8C会議室
6月13日(金) 18:00~20:00	6月度役員会	1)令和7年度体育会OB・OG会の定期総会(書面)の決議状況の確認 2)令和7年度体育会OB・OG会の定期総会日程について(対面) 3)総会内容について 4)他校の体育会OB・OG会HPの状況調査	神田校舎1号館8C会議室
6月30日(火)	定期総会(書面)	令和7年度体育会OB・OG会の定期総会(書面)ですべての議案が決議	
8月5日(火)	校友会との面談	当連合会の笠原会長、飯島顧問、樋口が校友会事務局の剣持事務局長、村田課長、野口課長補佐と校友会の加入についての条件や今後の手続きについて面談を実施。	神田校舎校友会事務局
8月8日(金) 18:00~19:15	8月度役員会	1)令和7年度体育会OB・OG会の定期総会(書面)の決議結果の確認 2)定期総会の結果について校友会事務局への報告と今後について 3)11月の定期総会(対面)での講演会の講演者について 4)体育会OB・OG会ホームページ(HP)の内容と見積りについて	神田校舎1号館8C会議室
9月12日(金) 18:00~19:25	9月度役員会	1)令和7年度体育会OB・OG会の定期総会(対面)の日時、会場来賓について 2)定期総会(対面)での講演会について 3)定期総会(対面)での式次第と当日の役員の役割分担	神田校舎1号館8C会議室
10月20日(月) 18:00~19:20	10月度役員会	1)令和7年度体育会OB・OG会の定期総会(対面)、懇親会の最終確認 2)定期総会(対面)での講演会について 3)定期総会(対面)での式次第の最終確認	神田校舎1号館8C会議室
11月1日(土) 14:00~15:20	令和7年度定期総会	第1号議案 令和6年度活動報告 第2号議案 令和6年度会計報告 第3号議案 令和7年度活動計画 第4号議案 令和7年度会計予算 第5号議案 校友会への加入について 第6号議案 顧問就任について 体育会表彰 OB・OG会からのお知らせ	神田校舎10号館10051教室
15:30~17:00	懇親会		神田校舎10号館 相馬永胤記念ホール
1月16日(金) 18:00~19:00	1月度役員会	1)体育会OBOG連合会の令和8年の方針 2)校友会の体育会OBOG連合会支部の第1回定期総会について 3)体育会OBOG連合会HPの進捗状況 4)体育会OBOG連合会への改称に伴う修正物について(会則、角印等) 5)体育会OBOG連合会の新規制作物について(会旗、封筒、名刺等)	神田校舎1号館8C会議室
2月20日(金) 18:00~19:30	2月度役員会	1)校友会の体育会OBOG連合会支部の第1回定期総会について 2)体育会OBOG連合会HPの進捗状況 3)3/19の体育会表彰式(大学主催)におけるOBOG連合会賞の選考 4)その他	神田校舎1号館8C会議室
3月19日(木) 10:30~	令和7年度 体育会表彰式	令和7年度体育会表彰式に笠原会長が参列し、特別賞(体育会OBOG会賞)を贈呈	生田校舎3号館蒼翼の間
3月27日(金) 18:00~20:00	3月度役員会	1)3月19日の体育会表彰式(大学主催)の報告 2)校友会の体育会OBOG連合会支部の第1回定期総会について 3)体育会OBOG連合会HPの進捗状況 4)体育会OBOG連合会の旗の製作 5)今後の大学側と体育会OBOG連合会との関係構築	神田校舎1号館8C会議室

第2号議案 令和7年度 会計報告

令和 7 年度 専修大学体育会OBOG連合会 収支決算書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位：円)

	項 目	金 額	内 容	予 算
収入の部	繰越金 全額	2,517,947	前年度繰越金 全額	2,517,947
	----	----		----
	年会費	580,000	年会費@20,000×29部	500,000
	雑収入	28,000	バッジ販売 (@2,000×14個)	----
	〃	0	エンブレム販売 (@5,500)	----
	総会懇親会費	366,000	(@6,000×61名／令和7年11月1日)	400,000
	総会寄付金	50,000	専修大学、校友会、山田氏	----
	----	----		----
	収入合計 ①	3,541,947		3,417,947
支出の部	体育会表彰費	200,000	準硬式野球部、フェンシング部、東洋伝拳法部、相撲部	200,000
	通 信 費	43,110	総会資料他,郵送・切手封筒代.	30,000
	事 務 費	316,434	役員会,総会準備資材、HP作成他	200,000
	会 議 費	36,198	幹事会,役員会開催に伴う費用	20,000
	総 会 費	389,282	総会懇親飲食費 (令和7年11月1日)	400,000
	活 動 費	20,000	野球部100周年お祝い金	100,000
	印 刷 費	35,229	ハガキ及び資料印刷、インクカートリッジ等	20,000
	予 備 費	----		10,000
	雑 費	2,500	応援タオル発送	10,000
	S バッジ作製	----	S バッジ	----
	応援タオル作製	----	タオル " がんばれ専修大学 "	----
	支出合計 ②	1,042,753		990,000
	収入①－支出②	2,499,194	←次年度 繰越金	2,427,947

財 産 目 録

預 金 明 細	令和 8 年 3 月 3 1 日現在	
振替口座	ゆうちょ銀行・平塚店	2,499,194
現 金		0
合 計		2,499,194

令和 8 年 3 月 3 1 日
専修大学体育会OBOG連合会
会計担当 川口 暢一 ㊞

令和 7 年度収支報告書は監査の結果、適正に処理されている事を報告いたします。

令和 8 年 3 月 3 1 日
専修大学体育会OBOG連合会
監査 石井 務 ㊞

第3号議案 令和8年度 活動計画

日本を取り巻く社会環境は、米国とイラン、ロシアとウクライナをはじめとする世界的な紛争、自然災害やAIによる社会構造の変化、株価や先物価格の乱高下、人口減による経済成長の鈍化予測、また政情不安からくる中東、東欧、南アジアにおける安全保障問題の顕在化等々、日本の将来もますます不安視されています。

また、日本の教育分野においては、今後急速に進む少子化に伴う大学受験者数の減少が確実となり、大学経営もサバイバルの時代へ突入しています。

最大のポイントは、18歳人口が急激に減っていくことです。一方で、大学数はほとんど減っておりません。その結果、定員割れの大学が一気に増えていきます。特に影響を受けるのは中堅大学で、関東圏ではいわゆる「日東駒専」が最も厳しい立場に置かれる、と言われています。

こういった厳しい環境の下、専修大学が勝ち残っていくためには、32万人以上の卒業生を有する校友会が中心となり、「オール専修」で総力を上げて立ち向かうことが必要不可欠です。

中でも強い母校愛をもつ専修大学の体育会OB、OGが集う当連合会は、今後のカギを握る重要な存在であることは言うまでもありません。

以上の点を踏まえ、今年度の本会の方針を下記に掲げますので、何とぞご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

①連合会ホームページを最大限活用し、さらなる体育会OB会のコミュニケーションを深める。
(英語版の作成も検討)

②当連合会に専修大学体育会43部2同好会のすべてが参加するよう促進する。

③専修大学OBOG著名人による講演会を開催し、体育会OBOGの連携を深め当連合会の知名度アップに繋げる。

④体育会各部の試合に合わせた「応援日」を設け、できるだけ多くの人達が試合、大会の応援に足を運ぶようHP等を通じてPRをする。

⑤体育会の所属学生やOBOGに対し、金融リテラシーを高める講演等を行い、就職活動や将来的な人生設計に役立つ情報を提供する。

以上

第4号議案 令和8年度 会計予算

令和 8 年度 専修大学体育会OB OG連合会 予算案

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

収入の部 (単位：円)

項 目		予算案	令和 7 年度実績	備 考
繰 越 金		2,499,194	2,517,947	
	会 費	580,000	580,000	
	雑 収 入	―――	28,000	S バッチ・エンブレム販売
	総会懇親会会費	400,000	366,000	
	総会祝い金	30,000	50,000	
収入合計 ③		3,509,194	3,541,947	

支出の部

項 目		予算案	令和 7 年度実績	備 考
運営費	通 信 費	30,000	43,110	
	事 務 費	750,000	316,434	HP作成&管理費、連合会旗一式、プロジェクター他
	会 議 費	40,000	36,198	
	総会懇親会会費	400,000	389,282	
	印 刷 費	30,000	35,229	
	雑 費	―――	2,500	
	運営費小計①	1,250,000	822,753	
事業費	体育会表彰費	200,000	200,000	年間成績優秀部及び選手
	活 動 費	20,000	20,000	学生支援その他
	予 備 費	―――	―――	
	S バッチ	―――	―――	
	応援タオル	―――	―――	
	―――	―――	―――	
	事業費小計②	220,000	220,000	
支出合計④ (① + ②)		1,470,000	1,042,753	
収入③－支出④		2,039,194	2,499,194	
令和 8 年度繰越金		2,039,194		

令和 8 年4 月 1 日
専修大学体育会OB OG連合会
会長 笠原 鉄男 ㊞
専修大学体育会OB OG連合会
会計担当 川口 暢一 ㊞

第5号議案 当連合会が来年度より校友会の組織として活動する件

昨年度の定期総会において、当連合会が校友会の支部を設立することが決議されました。これを受け、昨年11月に校友会より、当連合会が職域支部の一員となることが正式に承認されました。

これにより、当連合会は従来の「専修大学体育会OBOG連合会」と、新たに設立された校友会の「体育会OBOG連合会支部」というふたつの顔を持つこととなりました。

しかしながら、実質的にはほとんどひとつの組織であることから、ふたつの組織を並行して運営することは、人的にも時間的にも非効率であるのは言うまでもなく、当連合会の役員間で協議を重ねた結果、専修大学の公認団体である校友会の組織として活動していく方が、将来的に望ましいとの意見が多数を占めました。議論する中で、これまでどおり体育会OBOGの組織として独自路線を継続することも検討しましたが、任意団体としての活動には一定の限界があり、大学の公認団体である校友会の職域支部で活動する方が、大学関係者のみならず対外的にも当連合会の認知度が上がり財源拡大の可能性も広がって、ひいては専修大学体育会のさらなる発展に大きく寄与できるものと判断いたしました。

また、本年4月に開催した校友会の「体育会OBOG連合会支部」の初の定期総会において、支部会員の皆さまに本件についてご説明したところ特段の反対意見はなかったため、今回の総会で本議案を提案するに至った次第です。

本議案が可決された場合、当連合会は令和9年度より校友会の「体育会OBOG連合会支部」として活動することになります。今年度はその移行準備期間として会則の更新や役員の選出など、円滑な移行に努めてまいります。

何とぞ、本件の趣旨をご理解いただき、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

以上

専修大学体育会OBOG連合会からのお知らせ

1. 専修大学体育会OBOG連合会のホームページについて

昨年度の総会の活動計画の中で、当連合会のホームページを本年4月に開設予定としてましたが、皆さまのご協力のもと本年5月15日に無事オープンすることができました。

現在、約半数のOB会が掲載されており、今年度上半期までにすべてのOB会が掲載されることをめざして、今後も未掲載のOB会に対し原稿作成等のサポートを継続してまいります。

今後、当連合会ホームページが核となり、専修大学体育会全体の活性化につながることを期待するとともに、校友会や大学のHPにもリンクしてPRを積極的に行い、多くの方たちに当連合会の存在を幅広くアピールし、当連合会の理解と浸透に努めます。

2. 当連合会の運営について

現在、当連合会の役員は実質12名で任期は3年となっております。各役員は仕事や日常生活の合間をぬってボランティアで活動しております。ただ現状、役員会に出席するための交通費や総会の資料作りをはじめとする文書作成や印刷手配、発送作業、会場設営、校友会や体育事務部といった学内関係部署との折衝など、表に現れにくい経費や時間を要しているのが実情です。

これまで長年、触れられてこなかったこの問題に対して今年度は正面から取り組み、できるだけ自己負担が軽減される制度を来年度から導入いたします。

まず今年度は交通費の精算からスタートし、当連合会の会則にも本件の具体的な内容を明記したいと考えております。

3. 当連合会へ人的なご協力のお願い

前述のとおり、当連合会の役員はボランティアで各人、都合のつく時間を割いて活動しているため、人数が多ければ多いほど個々の負担は軽減し、タスクが進みます。

また、人数が多ければ各課題（テーマ）に対しプロジェクトチームを組むこともでき、様々な課題に取り組むことが可能となります。今後、大学当局へ積極的に体育会の改善や提案などを働きかけるために、各OB会から当連合会へ多くの人材の参画を心よりお願い申し上げます。IT(SNS)を活用した情報発信が不可欠な今、特にITに強いOBOGに加わっていただけると幸甚です。

4. 体育会表彰の特別賞(体育会OBOG連合会賞)の見直しについて

例年3月の体育会表彰式に、当連合会から特別賞として賞金5万円を4つの団体(個人も含む)へ合計20万円を提供してまいりました。当連合会では、大学当局の表彰対象の中から、2年連続の表彰は対象外とするなど、できるだけ多くのOB会が表彰されるよう選定してきました。

ただし、今年度からは当連合会独自の選考基準を設け、大学当局の表彰対象からだけでなく、体育会すべての部、同好会の中から選定する予定です。

以上

